

寄贈図書リスト

- ①シリーズ現代の天文学6 星間物質と星形成, 福井康雄 犬塚修一郎 大西利和 中井直正 舞原俊憲 水野亮 編, A5判, 336ページ, 2,500円+税, 日本

評論社

- ②マンガでわかるカルロ・ロヴェッリの物理学, ルーカ・ポッツィ著, エリーザ・マチェッラーリ イラスト, 花本知子 訳, B5変形判, 168ページ, 2,400円+税, 山と溪谷社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

人事公募

東北大学・海洋研究開発機構
変動海洋エコシステム高等研究所 (WPI-AIMEC)
AIMEC 研究員もしくは
AIMEC ポストドクトラル研究員

WPI-AIMECでは、地球環境変動に対応する海洋生態系の応答・適応メカニズムを解明し、ステークホルダーにとって有益な海洋生態系変動の将来予測の実現を目指しています。

着任初年度に研究スタートアップ経費としてAIMEC研究員は300万円、AIMECポストドクトラル研究員は200万円が支給されます。(以後の支給はありません。)

詳細は各募集要項をご確認ください。

- ①海洋環境統合解析ユニット:
<https://www.jamstec.go.jp/recruit/j/details/wpi20250126/>
- ②海洋環境統合解析ユニット・生態複合研究ユニット・沿岸生態系サービス研究ユニット・海洋-固体地球変動統合研究ユニット・海洋生物統合研究ユニット・海洋微生物生態系変動研究ユニット・海洋物質循環観測統合解析ユニット・海洋地球システム統合数理解析ユニット・海洋生態系モデリング評価研究ユニット
https://www.jamstec.go.jp/recruit/j/details/wpi20250126_2/
- ③沿岸生態系サービス研究ユニット
https://www.jamstec.go.jp/recruit/j/details/wpi20250126_3/
1. 募集人数: ①・③1名, ②12名

2. 勤務地:

- ①・③ 東北大学 青葉山キャンパス 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
② 東北大学 青葉山キャンパス 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
または、海洋研究開発機構 横浜研究所 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173番25

3. 専門分野: 海洋物理学, 海洋生態学, 地球化学, 海洋工学, 地球微生物学, 計算機科学, 気象学, 気象及び海洋モデリング, 地球科学, 分析化学, プロテオミクス, 有機地球化学, 生物地球化学, 同位体地球化学, 環境(微)生物学, (同位体)生態学等

4. 応募締切: 2025年1月26日(日)

5. 問合せ先: 変動海洋エコシステム高等研究所 (WPI-AIMEC)
研究推進企画部 採用担当
wpi-aimec_hr@jamstec.go.jp

京都大学大学院理学研究科 助教

1. 募集人員 (ポスト・人数など): 助教1名
2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地:
(1) 京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 物理学第二分野 宇宙線研究室
(2) 京都市左京区北白川追分町
- 3.4. 専門分野: 職務内容・担当科目: 飛翔体を用いた手法を中心に、現教員と協力して高エネルギー宇宙物理学(実験)に関する研究・教育を行う
5. (1) 着任時期, (2) 任期:
(1) 採用決定後できるだけ早い時期
(2) 任期なし
6. 応募資格: なし

7. 提出書類:
- ①履歴書(顔写真, e-mailアドレス, 着任可能時期を明記)
 - ②研究業績リスト
 - ③主要論文3編以内
 - ④研究業績概要
 - ⑤着任後の研究計画(教育に対する抱負も含む)
 - ⑥推薦書または意見書
8. 応募締切・受付期間: 2025年3月28日23:59(金)(JST)
9. (1) 提出先, (2) 問合せ先:
- (1) 書類送付先: 京都大学大学院理学研究科 物理・宇宙物理学系 学系長 山本 潤 電子メールにてapply_at_scphys.kyoto-u.ac.jp宛にpdf(最大サイズ20MB)を送付する(「_at_」を「@」に変えてください). Subject欄は「宇宙線研究室 助教」とし, ファイル受領の返信を必ず確認のこと.
 - (2) 問合せ先: 京都大学大学院理学研究科 物理学第二教室 教授 鶴 剛 電話: 075-753-3868 e-mail: tsuru_at_cr.scphys.kyoto-u.ac.jp(「_at_」を「@」に変えてください)
10. 応募上の注意:
必要と判断した場合, セミナーをお願いする場合があります.
11. その他(待遇など):
http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/news/public.html#koubo_20241223_1を参照のこと.

賞の推薦

2025年度 第20回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」募集要項

1. 趣旨: ロレアルグループとユネスコが世界規模で展開する女性科学者を支援する共同プロジェクトの理念を継承し, 将来を担う若手女性研究者が国内の教育・研究機関において研究を継続できるよう, 奨励しています.
2. 対象: 生命科学, 物質科学の分野において, 日本国内で博士後期課程に在籍あるいは, 博士後期課程に進学予定で, 40歳未満(応募締切日2025年3月31日時点)の女性を対象とします.
3. 奨学金授与の件数: 生命科学, 物質科学の分野からそれぞれ原則1年2件(2名), 計4件(4名)を選考し, 受賞者に賞状および奨学金100万円を

贈呈します.

4. 受付期間: 2024年12月20日(金) から2025年3月31日(月) 23時59分まで
5. 応募方法: 下記必要書類を「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局宛にe-mailにてお送りください. 1つのフォルダに下記必要書類をまとめて格納のうえ, お送りいただく際はフォルダにパスワードをかけ, 10 MBを超える場合は, 所属大学・機関で推奨されているファイル転送サービスをご使用ください.

*個人のe-mailにてパスワード設定が不可の場合, 指導教員または大学のe-mail代用可

【フォルダ名の表記について】

研究分野(生命科学はLS, 物質科学はMSと表記), 氏名と所属大学・機関は英語表記でお願いします.

記載見本: LS_Yamada Hanako_Japan University

【書類名の表記について】

該当書類の番号, 研究分野(生命科学はLS, 物質科学はMSと表記), 氏名と所属大学・機関は英語表記でお願いします.

書類aの記載見本: a_LS_Yamada Hanako_Japan University

- (1) 必要応募書類 ※ファイル形式は全てPDFにてご提出ください.

- a) 応募申請書
募集要項, 応募申請書, 指導教員からの推薦状は, 日本ロレアルホームページ

<https://www.loreal.com/ja-jp/japan/articles/commitments/fwis-japanfellow-award-application/>

2025年度 第20回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」募集開始日(12月20日以降)からダウンロードできます.

- b) 履歴書(書式自由, 身分証明書サイズの顔写真貼付)
- c) 指導教員からの推薦状
- d) これまでの研究内容の概要(A4版 2頁以内)
*および別添(A4版 1頁以内)に, 研究タイトルとアブストラクトを日英で併記ください(和文500字/英文200 words)
- e) 今後一年間の研究題目とその概要および今後の展望(A4版 2頁以内)
- f) 発表論文リスト(口頭発表含む) 著者名は可能なかぎり全員記載
*応募者本人がFirst authorではない論文は, First authorの役職名(発表当時)と, 本人

の寄与分 (%) を明記ください。

g) 論文別刷

g-1) 既刊および刊行予定の論文 (Acceptance Letter 添付) 3編以内

g-2) 学会発表論文 (アブストラクト)

*上記g-1), g-2) に該当する書類がない場合, 修士論文で代用可

*複数の論文がある場合は, まとめて1つのPDFでご用意ください。

(2): 書類提出先・お問い合わせ先

「ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局 loreal-fwis-japan@kreo.jp
事務局より書類受取のご連絡を1週間以内にいたします。

6. 選考: 1次審査 (書類選考), 2次審査 (ヒアリング) 日本ロレアル(株)新宿オフィスにて対面にて実施予定), 選考委員会による厳正なる審査を経て, 2025年7月中旬から8月を目途に採否をご連絡します。

7. 授賞式: 採否のご連絡後, 関西で授賞式を開催 (10月2日予定) し, 正式に受賞者の発表を実施します。(※受賞者は式典への出席は必須とさせていただきます。)

会務案内

「掲載論文の無料公開期間の変更」

PASJでは, 2025年からオープンアクセス論文以外の論文については, アクセス制限の解除期間を従来の「出版後3年目から期限なし」から「出版後3-10年目の7年間」へ変更することになりました。

これは, 各出版社から購読機関へ提供される電子版利用統計の統一基準 (COUNTER5.1) の方針変更により, 2025年から無料公開論文が統計の対象外となることに対応するためです。この統計は購読機関が契約更新を行う際の判断材料となっており, PASJの利用数が実際よりも少なく見えることになり, 今後の機関購読契約更新に影響を与えるおそれがあります。そのため, 出版委託先のOUP社との協議や編集委員会での議論の結果, 読み手や著者の不利益をできるだけ抑えつつ, 購読契約維持のため, 止むを得ず無料公開に期間を設けることになりました。

皆様にはご不便をおかけしますが, 何卒ご理解の程, よろしくお願いいたします。

欧文研究報告編集委員会

編集委員より

天文月報記事投稿用アップローダー

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/

■ログイン

ユーザー名: geppou パスワード: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面で必要事項を埋めてください。するとアップロードに進むことができます。できる限りファイルは1つにまとめてください。ファイルが複数ある場合は「複数のファイルを投稿する」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。1回あたり全部で最大50 Mbyteまで, 個数は20個まで送信できます。それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが, やむをえない場合は分割してお送りください。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またフォームのチェックや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのアップローダーは使えません。

その場合はtougou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するご質問はtougou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート

SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀などのご執筆にあたりましては, 日本天文学会HP内「天文月報」のページにあります「投稿用テンプレート」をご活用ください。

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_template/

TeX・LaTeXで執筆される方はテンプレートをオンライン上またはダウンロードしてご利用ください。

MSWordで執筆される方はwordテンプレートをダウンロードしてご利用ください。また、ご執筆の前に必ず「執筆マニュアル」をご一読ください。

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_manual/texをご利用される場合は、あわせてreadmeもお読み下さい。

また、ご利用にあたって不具合を発見された方は、編集委員会までご連絡をお願い申し上げます。

天文月報オンラインのユーザ名とパスワード

ユーザ名: asj2025

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字) と **vol118** (6文字) の計 11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員: 津村耕司 (委員長), 岩崎一成, 小野寺仁人, 勝田哲, 川中宣太, 西澤淳, 仏坂健太, 岡本文典, 日下部展彦, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 鳥海森, 信川久美子, 橋本拓也, 宮本祐介

令和7年1月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487

振込口座: 郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店 (普) 4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会 2025年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)